



鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和8年9月1日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 高田 加寿子

夏休みが終了し、8月24日(月)から前期後半の学習が始まりました。今年も猛暑となりましたが、素敵な夏休みが過ごせたでしょうか。

元気な挨拶をして登校してきた皆さんからは、夏休みの思い出や一人一人が取り組んだことについて、学年や学級でたくさん話を聞くことができました。

前期後半には毎日の学習、演習や実習のほか、学校祭に向けての取組も行われます。お互いに協力し合い、より一層充実した学校生活を送っていきましょう。

全校集会が行われました

8月24日、全校集会が行われました。いよいよ前期後半のスタートです。夏休みは終わりましたが、まだまだ気温も高く、オンラインでの全校集会となりました。学校長の話を姿勢よくしっかりと聞く姿に、これからの意気込みを感じることができました。



KDDI スマホ・ケータイ安全教室

8月26日、生活産業科2・3年生を対象にKDDI スマホ・ケータイ安全教室が行われました。インターネットは便利で身近な存在である反面、トラブルや犯罪に巻き込まれる危険性があるので、より良い使い方を、皆で考える時間となりました。



授業が始まりました!

授業が再開し1週間、子どもたちはいろいろな活動に取り組んでいます。



学校祭に向けて

10月29日・30日に開催予定の学校祭に向けて、生徒会のメンバーを中心に、内容や進行方法について話し合いを進めています。児童生徒が主体となり、自ら考え、創り上げる学校祭となるよう、教職員も温かく見守りながら支援してまいります。

当日は、ぜひご参観いただければ幸いです。



